



「司令官挨拶」

自衛艦隊司令官 泉 徹



横須賀水交會の皆様には、日頃、自衛艦隊の諸活動に対し、格別の御支援、御高配を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。また、この度、横須賀水交會の皆様にご挨拶の機会を頂きまして、重ねて御礼申し上げます。この機会に、日頃感じているところを申し上げ、今後とも御高配を賜れば幸いです。

8月1日に自衛艦隊司令官を拝命し、早いもので数ヶ月が経過した

わけですが、我が国の周辺情勢及び国際情勢が如何にダイナミックに動いているかを痛感させられる日々であります。中国のオリンピック

紛争が発生し、ロシアとグルジアの海戦も生じたようであります。日本国内におりますと、紛争のない何も起こらない状況が世界情勢においてもそうであるかのような印象

を受けますが、ソマリア沖の海賊問題、中国の海底油田へのアクセスや神舟号の打ち上げ等、我が国周辺でも知らないところであるいろいろな生起

しているようであります。このような中、海上自衛隊は、インド洋における補給支援活動を継続しており、

今年も早7年目を迎えます。これらの活動においても、日本国内では、その重要性について認識している

人は少なく、アフガニスタンやイラクにおいて、多くの国が、生命を投

発行 平成20年11月12日  
編集 横須賀水交會事務局

げ打って、テロと戦い世界の平和と安定に寄与するのみならず、各国がそれぞれの国益はあるものの、正義を貫く考え方をもって対応している中、我が国の世論は寂しい限りといわざるを得ません。

明治天皇が、明治15年に「軍人勅諭」を制定され、明治23年に「教育勅語」を制定されました。そこには、安全保障と教育は、国家の根幹であるとの認識の下、制定されたように思います。その軍人勅諭の最後には、「心だに誠あらざれば、寡言も善行も、皆、上辺の飾りにて何の用にか立つべき、また、心だに誠あらざれば、何事もなるものぞかし。」とあり、これらを実行する上に於いて、誠の心がなければ、それらは、飾りに過ぎずうわべの事として、自己形成もできず、結局役に立たない事を示しています。

また、教育勅語中頃には、「爾臣民、父母に孝に、兄弟に友に、夫婦相和し、朋友相信じ、恭儉己を持し、博愛衆に及ぼし、・・・(途中略)・・・」

横須賀水交會主要行事予定

来年3月までの主要行事予定は、次のとおりです。多くの会員の参加をお願いいたします。最新の情報はホームページでご確認下さい。

1 理事会

(1) 期日 12月11日(木)

・横須賀病院長講話

・理事会 1315～1345

・ 1400～1700

(2) 場所 2術校大講堂

(3) 会議後、懇親会

2 合同賀詞交歓会

(1) 期日 1月17日(土)

1330～1530

(2) 場所 横須賀商工会議所

(3) 会費 四千元(女性二千元)

(4) その他 主幹事… 水交會

進んで公益を廣め、・・・(途中略)・・・一旦緩急あれば、義勇公に奉じ、・・・又以て爾祖先の遺風を検証するに足らん。」とあり、「子は親に孝養を尽くし、兄弟は助け合い、夫婦は仲睦まじく、友達は信じ合い、自分の行動を律し、人々に愛の手を差し伸べ・・・進んで社会のために貢献

し、・・非常事態が発生したならば  
身命を捧げて国の平和と安全のため  
に奉仕しなくてはならない。・・  
これらは私たち祖先が今日まで身  
を以て示してきた伝統的な美風を  
明らかにする事でもある。」とあり  
ます。

自衛隊も社会の縮図であります  
が、親子関係や隣人関係がきわめて  
希薄となつていゝる社会の状況や自  
衛隊内外で昨今生起している事件  
を見るにつけ、明治の先人が残した  
精神と戦前あるいは戦後の暫くの  
間日本人が保ち続けてきた徳目を  
考えずにはおれません。

一方で、我が国を地政学的に見れ  
ば、周辺海に囲まれた島国であり、  
人口が都市に集中しており縦深性  
がなく、輸出入の99%以上が船舶  
輸送に頼つていゝる国であります。し  
かし、日本国籍の商船数は激減し、  
それらを動かす船員も外国の人々  
に依存してゐる状況で海洋国家と  
は名ばかりの国になつていゝます。

国家の生存を考えれば何を最重  
要に考えなければならぬか、また、  
日本人としての中心軸をどこに置  
くべきか、日本国の国家戦略、防衛

戦略を見つめ直し構築し直す時期  
にきていゝるように思えてなりませ  
ん。

いろいろな事案が生起する中、ま  
た、隊員が一致団結して国家のため  
にいゝる考えなくてはならない  
この時期、我々自衛隊員は一つ一つ  
の事象に一喜一憂する事なく、これ  
まで諸先輩が努力してこられたよ  
うに、黙々と驕ることなく、真摯に、  
誠実に、精強さを目指す事が今ほど  
必要な時期はないと思われまゝ。先  
人が、幾多の困難と危険を乗り越え  
国民の生命、財産を守る崇高な任務  
にまい進して来られたように、昨今  
の学校教育を受けて入隊してきた  
隊員に、この「至誠」といゝる考え方  
を再度教育し直し、任務にまい進す  
る所存です。

横須賀水交會の皆様には、今後と  
も自衛艦隊に対し、変わらぬ御指導  
と御支援を賜りますようお願い申  
し上げますとともに、横須賀水交會  
の益々の御発展と皆様の御健勝を  
祈念いたしまして、御挨拶とさせて  
いただきます。

「横須賀市議会便り」

横須賀市議会議員

木下 憲司 理事



暑い夏も終わり、秋風が心地よ  
くなつてきた今日この頃です。

さて、今回の市議会便りは、原子  
力空母ジョージ・ワシントン（以下  
「GW」）の横須賀初入港と昨今の  
政治情勢について、少し意見を述べ  
てみたいと思ひます。

○ 9月25日にGWが横須賀へ初  
入港しました。平成18年6月に蒲  
谷横須賀市長が受け入れ表明をし  
た後、いゝるゝるなことがありまし  
た。今年に入つても5月に住民投票条  
例制定の騒ぎがありましたが、市議  
会で否決しました。その後、GWの  
火災事故（5月）、原潜の放射能漏  
れ報道（8月）もあり、そのつど反  
対派に格好の口実を与えたようで  
すが、それでも9月にGWが入港し、  
一段落といゝるところです。原子力空

母の配備は、日米安保を担保する重  
要な戦力であり、日米安保を象徴す  
るピークルだと思ひます。冷戦構造  
が集結したといゝえども、東アジアは  
いまだにその情勢を引きずつてい  
ます。空母の前方展開は、抑止力と  
して我が国の防衛と極東の安定に  
不可欠なものだと思ひます。横須賀  
市民として、GWの配備の重要性を  
認識するとともに、横須賀は我が国  
防衛の最前線として貢献してゐる  
ことを再認識すべきだと考えまゝす。

○ 9月24日に麻生政権が発足し  
ました。この稿を記述してゐる今日  
現在（10月15日）、解散総選挙の時  
期は定かではありませんが、早晚総  
選挙が行われる情勢です。そういゝ  
中、横須賀選出の小泉純一郎元総理  
が、次回衆院選不出馬を宣言し、後  
継者として次男小泉進次郎氏を指  
名しました。次期総選挙は、政局的  
には自民党と民主党の一大決戦に  
なると思われまゝす。世襲批判などの  
論説に左右されるのではなく、我が  
国の安全保障の中核にある横須賀  
市民として、政治に何を期待するの  
か、冷静な判断が求められていゝる  
と思ひます。

(会員投稿)

「ゆとり教育見直しでどうなる」

『読売新聞コラム(20年3月9日)』

理事 岩岡光

我が国の教育問題には、関心を持って見ているところですが、標題について、読者の質問に答える形で、梶田叡一先生(兵庫教育大学長・中央教育審議会教育課程部会長)がたいへん分かり易く説明しております。ご参考までに記事をそのまま転載します。

Q 「ゆとり教育」で学力が低下した。との批判があります。どこに問題があったのですか。

A 大きく二つあります。一つは理数系の教科を中心に。授業内容と時間数が国際的な水準に比べて大幅に下がってしまったことです。また国語をコミュニケーションの道具という面から見て、「聞く・話す」を重要視し過ぎ、きちんとした認識や思考に不可欠な「読む・書く」がおろそかにされました。二つ目は。授業の仕方を変えたことです。1990年代に文部省(現文部科学省)は

「指導ではなく支援だ、子供の自主性・自発性に任せるべきだ」と言っていました。問いを出して、子供に考えさせることや、子供が興味を持ちそうなものを上手に組み合わせ

た教材作りなど、古き良き日本式教育が廃れてしまいました。人は自分の頭で考え、自分の責任で判断しないといけません。その背後には知識が必要ですが、そのためにはきちんとした指導が必要です。しかし、ゆとり教育の結果、学力は大幅に低下しました。米国でも70年代、同じようなことをして学力の大幅な低下がおきました。その後反省し、80年代に元に戻しました。ゆとり教育は「つらいことは避けたい。できるだけ楽をしたい」という世の中の流れに教育行政がおもねった結果です。勉強を否定するものだったのです。公立高校はゆとり教育に忠実だったため(学力水準が低下し)、私立志向がものすごく強まりました。公立学校を良くしないと日本の教育は全体として上がらないのです。

Q 脱「ゆとり」を目指す新しい学習指導要領はどのようなものですか。

が。

A 新しい要領案では授業時間が増えます。授業の時間と内容は国際的な水準に戻ります。「学力を身につけることは大事だ」と再確認させることが狙いです。確かな学力を基盤に、「生きる力」を育成することが新要領案の基本理念だと考えています。特に理数系の物理や数学の系統的な学習を回復させたことが重要です。イオンなど大事な内容が抜けないようにしています。2次方程式の解の公式を覚えることも必要です。かつて世界のトップレベルだった理数系の学力を国際的に勝負できる所までひきあげなければいけません。言葉は、認識、思考、判断を支える大事なものですから、「読み・書き」の言語力の育成を目指して、国語の授業時間が増えます。

新要領案で先生にとって大事なのは、ゆとり教育で崩壊した「教師の専門性」を取り戻すことです。教師の原点は、子供の言葉、内面、知識などを考慮した上で、学習課題を子供にどう理解させるかということです。先生の授業負担は増えます。精神主義で乗り切れませんから、教

員の増員が不可欠となります。

親にやって欲しいのは子供にきちんとした生活習慣を身につけさせることです。もう一つは読書です。子供が読みそうな本を家庭にそろえて下さい。

新学習指導要領改定案のポイント

- ▽ 小中学校で国語、算数・数学、理科などの主要教科の授業時間を一割以上増加
- ▽ 現行の指導要領で削減された算数の「台形の面積」や社会の「縄文時代」、数学の二次方程式の「解の公式」などが復活
- ▽ 「ゆとり教育」の象徴とされた「総合学習」は小学校で週二コマから二コマに削減
- ▽ 小学校五年生から英語活動を必修化
- ▽ 各小学校に道徳教育の推進を担当する「道徳教育推進教師」を配置

以上がコラム記事ですが、この新要領案に基づく教育を受けるのは、私たちの孫や曾孫たちです。そしてその成果が現れるのは、20年から30年先であり、今日まで20年間続

けてきた教育を修正軌道に乗せるには何がしかの時間が必要と思われることから、その成果が出てくるのは半世紀位後ということになるのかもしれない。街で見かける一部の子供たちの状態には情けなさを感じているのですが、その間私たちも子供たちの健全な育成のために、ただ現状への憂慮や批判また蔑視するのではなく、出来る範囲で応援していく必要があると感じています。

### (会員投稿)

#### 赤十字国際委員会を見学して

会員 佐野 恭子



予備知識に反して、赤十字社は医療組織というより、

はるかに戦争にかかわりの深いものだった。設立当初(1863年のスタートは江戸期)から戦地の負傷兵救護とともに「捕虜の情報確保」を大きな目的としていた。スイスは、ヨーロッパの真ん中であつて多く

の戦争を経験していた。「私の夫が帰つてこないの。どこにいるのかしら。名前は〇〇というの」という思いを託した大勢の妻達の寄せ書きのシートが展示してあつた。実は最も圧倒されたのは「捕虜の名前、故郷、現在の収監先」つまり「捕虜の個人データ」の手書きカルテの山であつた。それによつて、残された妻達は、捕虜になつていく夫に手紙を出すことができた。四畳半くらいのスペースに、高い天井までぎっしり積み上げられたはがき大のカルテは、ほんの一部だという。

赤十字社はジュネーヴ国連と道を挟んで向かい合う。入口まえアプローチに赤十字と赤新月の帆布の天井がはつてあり足首まで麻袋をかぶせられ縄で縛りあげられた人間たちのブロンズ像が12、3体立っている。回転ドアを入つて受付、大男のレジ係と陽に焼けた美しい40代の女性が白のワンピースで談笑していた。二人に挨拶をして地下1F展示場を見始めると、彼女が大勢の高校生を引き連れて解説を始めた。そつと混ぜてもらおう。おかげでカルテの山の意味、壁一面に彫つ

てある千人以上の死者を出した戦争・災害・疫病の流行の様子を聞いた。「大戦の後には必ず大きな疫病の流行が来るのよ」。小なコンクリの部屋に17人分の足跡が付いてある。高校生たちは喜んで押し合いへしあい入つた。白いワンピースのアニータは「その小さな部屋に17名の捕虜が押し込められていました。潮が満ちて来ると、腰まで海水にかかるのです」・騒いでいた高校生がおし黙つて小部屋を見まわした。

地雷の部屋、戦地の救急手当ての道具。古い戦時のビデオを上映していた。衝撃だったのはアジア人(たぶん満州)の幼い女の子が全身をぶるぶる、がたがた、激しく震えているのが止められずに座っていた。ほんの何十年前まで、人々は戦争によつてここまで怯え、破壊されていたのだ。アニータが高校生を送り出してから話を聞いた。週2日要請があるとボランティアで解説をする。「実は有料なの。高校生たちは支払いをしたわ」私はタダでこっそり混ぜてもらつたのだ。アニータに赤字、赤新月のほか「レッドクロスタル」というトランプのダイヤの中

をやはりダイヤ型にくりぬいたものマークとして正式に受理されているのだと聞いた。「イスラエルの代表が来たときの解説にはそれを使つたのよ」。私は、赤十字設立までの苦勞を思い、目的遂行のためと言え「老舗」の「のれん」を譲る謙虚さと意志の強さを思った。スイスが「国際社会において、独自の名譽ある地位」を占めている様子をひしひしと感じる。

1Fに安価で気持ちの良いカフェテリアがあつた。魂の震えを再度自分の手のひらに載せて振り返つてから後、現実の世界に戻るもよし自分と友人の見たものを話し合つて帰つてもよし。ヨーロッパの美術館や博物館にほぼ例外なく安価で洒落たカフェテリアが併設されている。スイスを旅して、スイス人は実によく働き、几帳面で、大変な愛国者であつた。むき出しの岩肌に見える大きなスイス国旗がペンキで描いてある。美しい湖を行く定期船は船尾に驚くほど大きな国旗を下げている。それは青い山々と森林に、くつきりと映えていた。

## 砕氷艦「しらせ」

## 自衛艦旗返納式に参加

7月30日 横須賀港吉倉岸壁において、砕氷艦「しらせ」の自衛艦旗返納行事が横須賀地方総監半田謙次郎海将執行により実施された。

各部隊指揮官等、隊員各位および一般市民多数参列の中、横須賀水交會から長崎会長はじめ20名余の会員が参列した。

式は横須賀音楽隊の演奏のもと、自衛艦旗降下、乗組員退艦と整齊と進められ、艦長 品川隆一 佐から半田



総監へ自衛艦旗が返納された。

式の終わりに、S-61Aヘリコプターが「しらせ」の除籍をなごりおしみ上空を飛行し、花を添えた。「しらせ」は昭和57年11月就役、25年間にわたり南極地域観測事業の支援を行い、多数の人員輸送、毎回千トン余の物資輸送の実績をあげた。艦載ヘリコプターは1万6千

時間の無事故飛行を記録、そのうち南極の厳しい環境下で7千時間飛行した。

「しらせ」のこれまでの、南極観測事業を支えた実績は国民すべてに評価されており、その信頼もゆるぎないものがある。

昭和60年、平成10年の2度、南極の氷に閉ざされた、オーストラリアの砕氷艦を救助する功績も私たちの記憶に残るものであった。

「しらせ」の輝かしい功績と歴代艦長はじめ乗組員のご尽力に心からの賛辞と敬意を捧げたいものである。ご苦勞様でした。ありがとうございます。(本多副会長 記)

## 恒例の夏期防衛講座開催

## 演題「戦後日本人の五つの忘れ物」

中条 高德 氏

横須賀地区防衛諸団体共催による合同夏期防衛講座が、8月23日(土)午後、講師に日本戦略研究フォーラム会長(アサヒビール(株)名誉顧問)中条 高德 氏をお迎えし、神奈川県立保健福祉大学講堂で開催された。

当日は、防衛諸団体の会員、一般市民、横須賀在所陸海空自衛隊の指揮官等隊員のほか、制服を着用した少年工科学校生徒約70名など多数の参加者があり、500名収容の会場はほぼ満員の盛況であった。

講演会は定刻の15時30分から始まり、まず共催団体11団体の紹介があり、長崎横須賀水交會会長などが壇上において紹介された後、共催団体を代表して小山満之助防衛協会会長の挨拶、主幹事の小山倉隊友会横須賀支部長による講師紹介に引き続き、中条講師により「戦後日本人の五つの忘れ物」と題して、2時間に及ぶ講演が行われた。

講師は81才とは思えぬ若々しい声で、日本の近代の歴史について、学校では教わることのない豊富な話題を織り交ぜながら、解り易く、また、熱心に話された。講演では、演題の「五つの忘れ物」について直接述べられなかった



が、戦争の罪を日本人に叩き込み、今後日本が地球上に頭をもたげることのないようにとの戦勝国(アメリカ)による徹底した占領政策による「歴史観」「国家観」「教育、しつけ」等の欠陥に起因していると話された。特に、憲法については、戦後63年間、国民の意思が反映されない、かつ、戦勝国が作成した憲法を変えないことに、また、自民党が憲法改正を第一の綱領として発足したにもかかわらず改正に動かないのは、安易に行き過ぎていっているのではないとの、強い指摘があった。

また、質問に対する回答において、終戦の5年後に起こった朝鮮動乱により、日本列島が共産主義陣営に對する自由主義陣営の最前線の砦として重要になったことから、国家の存立を無くそうとした占領政策が終わり、サンフランシスコ講和に結びついたことは日本にとって幸いなことだったこと、また、強烈的な占領政策のおかげで、日本がその呪縛から解放されず、普通の独立国としてアジアの課題を処理できないことに、アメリカも戸惑っていることは、政治家の怠慢であると指摘さ

れた。

今回の講話では、若い少年生徒に向かい合い、居眠りに対する注意も含め、熱い気持ちで、解りやすく、また、日本人としてのプライドを育てるような話題を豊富に引用して講話されたことが印象的であった。

講演に引き続き、国会、県・市議会議員、泉自衛艦隊司令官等の横須賀在所陸海空自衛隊の指揮官・先任伍長など来賓

の参加を得て、同大学食堂において懇親会が開催された。会員相互また現役自衛官との懇談は弾み、時間の経過を忘れるほどの盛会であった。  
(岩永理事記)



### 護衛艦「いかづち」帰国 出迎え

9月4日午前、インド洋方面で補給支援特措法に基づく任務行動に従事していた護衛艦「いかづち」(艦長村田耕一2佐)が横須賀に入港、

帰国した。

第2護衛隊司令 寛 豊隆1佐指揮のもと、4月20日出港し、補給艦「ましゅう」とともに、インド洋において各国海軍に対し補給支援活動をしていたが、先般、佐世保を出港した護衛艦「ゆうだち」及び補給艦「はまな」と現地で交代し、この度帰国したものである。

半田横須賀地方総監主催による帰国行事は、林防衛大臣、佐藤参議院議員、赤星海上幕僚長、泉自衛艦隊司令官、高嶋護衛艦隊司令官など各部隊指揮官、隊員、米海軍15駆逐隊司令、蒲谷横須賀市長、家族など多くの出迎えの中、横須賀水交会は平野顧問ほか多数の会員が参加し、自衛艦旗小旗及び水交会旗を掲げて出迎えた。

司令帰国あいさつ、防衛大臣訓示、自艦隊司令官訓示、来賓紹介と行事は進められ、「いかづち」の乗組員各位は、この任務行動を完遂した誇りに満ちたま



なざしをしており、逞しく、凛々しい姿は頼もしく感じられた。

砂塵など苛酷な環境条件の中、長時間にわたる補給活動を繰り返し活動出来る海軍は、わが海上自衛隊を含め世界中で数えるほどしかないといわれている。

現在の法律は来年1月15日に期限切れになり、今国会で延長について通過できないことも考えられ、懸念されている。「この石油高騰の折、ただで給油するのはけしからん。やめてくれ」といった視野の狭い評論もあります。

テロに対する強固な姿勢を維持し、各国から信頼され、日本の存在を示すことが出来、この給油活動は日本が継続して実施可能な行動であることを、改めて、知らしめる必要があります。

政党間の政争の具にしてはいけません。日本の海上自衛隊が連綿と間断なくあの海域にプレゼンスしていることは関係国のみならず、周辺諸国も敬意と信頼を寄せているのです。やめてしまえば日本に対する評価は下がり「テロに屈した日本」と言われかねませんし日本は孤

立します。

私たちは、海上自衛隊は、国が任務を与えるから誇りを持って行動していると認識しています。日本のため任務に徹していると思います。国益にかなった長期間の任務行動に従事された乗組員各位に対し深甚の敬意と感謝を捧げたい。

ご苦勞様でした。ありがとうございます。  
(本多副会長記)

### (部隊研修)

#### 海上防衛の要「護衛艦隊」

10月10日(金)に平成20年度横須賀水交会部隊研修を護衛艦隊で実施し、長崎会長以下62名の会員が参加した。

今年3月26日に新体制への移行に伴い、護衛艦隊は従来の12護衛隊が8個護衛隊に集約されるとともに、地方隊の6個護衛隊が編入される等大幅な改編が行われており、今年度の部隊研修は、改編直後の護衛艦隊に関する知識を深めることを目的として計画した。

最初に高嶋護衛艦隊司令官の講話が横須賀地方総監部厚生センタ

―会議室で行われた。  
講話は「護衛艦隊の現状」と題して、護衛艦隊としての新体制への移行及び不祥事防止への抜本的対策に関する内容であり興味深く拝聴した。

護衛艦隊としての新体制への移行は、フォース・ユーザーからフォース・プロバイダーへの移行であり、練度の高い即応部隊を個艦としてではなく部隊として維持することを求められていること、即応部隊の分散配備及び修理時期並びに修理場所の平準化に対応するため、護衛隊は異なる母港の護衛艦で編成されること等の話があった。改編を評価するには時間が必要との話もあったが、護衛隊の業務を考えると大変だなという感想を持った。



講話終了後、艦艇見学を実施した。当初、吉倉岸壁で護衛艦を見学する予定であったが、行動等の変更があり、急遽予定を変更し、船越岸壁に

バスで移動して、掃海隊群所属の掃海母艦「うらが」を見学した。「うらが」の艦内見学では飛行甲板からウエルデッキまでエレベータを使用して移動し、構造を体感するとともに、現場を見ながら航空掃海支援について説明を受け航空掃海に関する理解を深めることができた。新しい護衛艦の見学が出来なかったのは残念であったが、掃海母艦の見学は初めての経験である会員も多く、好評であった。



その後場所を市内の平安閣に移し、護衛艦隊司令官、護衛艦隊所属の指揮官、先任伍長、うらが艦長等18名の参加を得て、懇親会が行われた。長崎会長の挨拶、来賓代表の高嶋司令官の挨拶に引き続き静岡県か

ら参加した若月会員の音頭で乾杯し、懇談に入ったが、久しぶりに参加した会員もおり、会は大いに盛り上がった。  
最後に、部隊研修実施に際し、状況の変化に臨機応変に対応して頂いた関係各位に深く感謝するとともに、今後ますますの御健闘をお祈りします。  
(上田理事記)

第17回横須賀水交會主催

ゴルフコンペ

去る10月27日(月)、第17回横須賀水交會主催ゴルフコンペを千葉房総半島中央にあるザ・鹿野山カントリークラブにて開催しました。



当日は天候に恵まれ、長崎会長以下48名のゴルフ愛好者が参加し、12組に分かれそれぞれ腕を競っていました。  
横須賀水交會が主催するゴルフコンペは、会員相互の親睦という目的だけではなく、非会員の陸海空自衛隊OBのみならず、民間の方にも参加していただき水交會の活動に理解を深めてもらおうと考え、幅広く参加者を募っています。今回は、陸自OB1名の参加があり、横須賀水交會初の統合オペレーションとなりました。  
競技はダブルペリア方式で実施しましたが、親睦という目的を優先し、過去3回の入賞者(1、2、3位)にはハンディキャップを減少させる等の新規則を考案し入賞者の範囲を広げる工夫を試みました。  
その結果、優勝を昭和10年生まれで73歳の村井田潔氏が勝ち取り、2位も同じく昭和10年生まれの山村一二氏、3位信兼旭男氏という親睦という目的を十分に達成した素晴らしい結果となりました。参加者総員が会員でもシニアに入る村井田、松村両氏の健闘を讃えています。

した。特に2位に入賞した松村氏は埼玉県大里郡寄居町にお住まいですが、水交會コンペにはわざわざ横須賀に宿泊して必ず参加されるという水交會会員の鑑ともいえるべき人です。

ベストグロス賞には、シニアの部(65歳以上) 近藤義美氏がグロス77で、ジュニアの部(65歳未満)林彬氏がグロス84で受賞しました。

今後ともに水交會活動の理解を深めるため、参加者数を増加させたいと考えております。そのため、会員の皆さんの周りにゴルフを愛好している陸海空自の後輩や知人等についての情報がありましたら、是非ご一報いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

(持永理事 記)

### 〔本部からの連絡事項〕

「海外でボランティア活動を  
しませんか?」

水交會は、技能ボランティア海外派遣協会が行っている活動への参加希望者(海自OB)を募集しています。

要件は①相手国のニーズに対応できる技術、技能、経験がある。②健康で、原則として50歳以上70歳未満である。③家族の同意が得られる。④語学力を必要としない。

フィリピン、インドネシア等のアジアへの派遣で、現地生活費12万円/月が支給される。資料等を望まれる方は水交會事務局(03・3403・1491)に連絡下さい。

なお、水交會本部のホームページ(<http://suikoukai.jp.com>)でボランティアの概要をご覧頂けます。

### 〔連絡事項〕

「会員名簿の改正を行います。」

横須賀水交會では、今年度事業計画に基づき、会員名簿の改正を行います。つきましては、住所・連絡先等の確認のため、会員の皆様に電話を差し上げることがありますので、協力のほどよろしくお願ひします。

(横須賀水交會事務局)

(海上自衛隊新聞から)

最後の木造掃海艇

「たかしま」命名・進水

平成18年度計画で建造中の掃海艇の命名・進水式が9月29日、ユニバーサル造船・京浜事業所で半田総監の執行により行われた。防衛省を代表して、半田総監が濱田防衛相による「たかしま」の命名書を読み上げ、支鋼を切断、進水した。

高野良三(幹候9) 7月15日  
飯迫幸三(幹予39) 8月19日  
阿部榮市(幹講) 9月7日  
中村元一(海兵72) 9月15日  
(本多副会長 記)

### 秋の叙勲受章者

次の会員の方々が叙勲を受けられました。(敬称略)

秋の叙勲

瑞宝双光章 後藤 博康

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章 縣 芳光

(土井理事長 記)

### 訃報

本年7月以降、次の会員が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

### 新(編)入会員(七月〜九月)

次の方々横須賀水交會に新たに入会(編入)されました。(敬称略)

市村 徑(横教103) 時任 良美(呉教138)  
雨宮 久雄(有志) 柴田 孝宏(幹候27) 松脇 行眞(有志)  
池田 雅計(幹予76) 新田 善朗  
三澤 昭夫(舞教44) 河西 俊彦(部内14)  
中林 恵子(公募) 吉本 幸永(幹候28) 柴田 徳雄(部内16)  
(河村理事 記)

### 編集後記

今回は会員からの投稿があり、充実した内容となりました。今後とも、皆様の投稿をお待ちしております。

(岩永理事 記)

横須賀水交會ホームページ

<http://y-suikoukai.daa.jp/>